

## 第 22 回日本ハンドセラピィ学会学術集会のご案内

第 22 回日本ハンドセラピィ学会学術集会は、平成 22 年 4 月 16 日(金)、17 日(土)の 2 日間の会期で新潟市において開催させていただきます。第 53 回日本手の外科学会と同時開催になりますが、16 日(金)は、午後よりプレミーティングセミナーを第 53 回日本手の外科学会学術集会会場の隣にありますホテル日航新潟において、17 日(土)は学術集会を新潟市民プラザに会場を移しまして行ないます。開催に際しましては、第 53 回日本手の外科学会学術集会会長の柴田実教授をはじめ日本手の外科学会の諸先生方より格別のご高配を賜っております。深く感謝申し上げます。

会期初日に行なうプレミーティングセミナーでは、筋腱移行術に関する教育講演とディベートを企画し、筋腱移行における基礎と実際について学ぶ機会を設けました。

会期 2 日目の第 22 回日本ハンドセラピィ学会学術集会は、テーマを『手指骨折』といたしました。手指骨折は、ハンドセラピストが対象とする機会の多い疾患であり、その治療結果の中には、拘縮や変形治癒のために重大な機能障害を残す症例も存在しています。そこで、特別講演では手指骨折の初期治療、骨折治療後の拘縮に対する治療について学び、シンポジウムでは、手指骨折後の後療法について手技のみならず、生活するために有用な手の機能獲得という観点からも皆様と検討したいと考えております。一般演題のセッションでは、より多面的な情報の提供や討論を行い、今後の日常の診療に役立つような実践的なものに致したいと考えております。

第 22 回日本ハンドセラピィ学会学術集会  
学術集会会長 新潟中央病院リハビリテーション部 土田 尚美

### 記

会 期： 平成 22 年 4 月 16 日(金)、17 日(土)

会 場： プレミーティングセミナー(16 日)

ホテル日航新潟 〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 5-1

第 22 回学術集会(17 日)

新潟市民プラザ 〒951-8061 新潟県新潟市中央区西堀通 6-866

テ ー マ： 手指骨折 -QOL の向上にむけて-

参 加 費： プレミーティングセミナー(レセプション込み)

会員 5,000 円, 非会員 6,000 円

第 22 回学術集会

会員 4,000 円, 非会員 7,000 円

# プレミーティングセミナープログラム

## 指定発言

16 : 00~17 : 00

---

座長 榎 辺 勇 (兵庫医療大学 リハビリテーション学部)

### 1. 筋腱移行術に関する基礎的研究

新潟医療福祉大学 医療技術学部 作業療法学科 大山 峰 生

### 2. 腱移行術前のセラピーのポイント

中部大学 生命健康科学部 作業療法学科 岡野 昭 夫

## 教育講演

17 : 00~18 : 00

---

座長 仲 木 右 京 (せんぼ東京高輪病院 リハビリテーション室)

### セラピーに必要な筋腱移行術の基礎知識

新潟手の外科研究所 所長 坪川 直 人 先生

## ディベート

18 : 00~19 : 00

---

座長 阿 部 薫 (慶応義塾大学病院 リハビリテーション科)

蓬萊谷 耕 士 (大阪医科大学附属病院 リハビリテーション科)

### 母指対立再建の移行筋腱には何が有効か？ —ADLの視点から—

愛野記念病院 リハビリテーション部 田崎 和 幸

大阪医専 作業療法学科 渡邊 政 男

## レセプション

19 : 10~21 : 15

---

# 第22回日本ハンドセラピー学会 学術集会プログラム

テーマ：手指骨折 -QOLの向上にむけて-

## 一般演題セッション1

9:10~10:00

座長 西村 誠次 (金沢大学医学部保健学科 作業療法専攻)

原田 康江 (聖隷浜松病院 ハンドセラピー部門)

- 1-1 DIP関節の屈曲角度による伸筋腱の遠位滑走距離の変化について  
—超音波画像診断装置を用いた観察の試み—

葛城病院 リハビリテーション部

藤目 智博 他

- 1-2 リウマチ手の伸筋腱皮下断裂に対する腱再建後早期運動療法

土谷総合病院 整形外科 リハビリ室

増原 愛 他

- 1-3 Zone I・II手指屈筋腱断裂修復術後に対する当院の早期自動屈曲運動法の治療成績

愛野記念病院 リハビリテーション部

油井 栄樹 他

- 1-4 zone II深指屈筋腱断裂における不良要因の検討

新潟中央病院 リハビリテーション部

松沢 翔太 他

- 1-5 手指屈筋腱狭窄性腱鞘炎由来のstiff handに対するセラピー

東京手の外科・スポーツ医学研究所

阿部 幸一郎

## 一般演題セッション2

10:10~11:00

座長 阿部 幸一郎 (東京手の外科・スポーツ医学研究所)

平良 明子 (鈴鹿回生病院 リハビリテーション科)

- 2-1 橈骨遠位端骨折における方形回内筋切離の有無がADLに及ぼす影響についての検討

太田総合病院 リハビリテーション室

三輪 一馬 他

- 2-2 TFCC鏡視下縫合術後における前腕回内外の運動学に着目したプロトコルの工夫

関西電力病院 リハビリテーション科

平沢 良和 他

- 2-3 橈骨遠位端骨折保存, pinning例の手関節痛に対する徒手圧迫療法とsplint療法

おぐら記念病院

窪 昌和 他

- 2-4 手指基節骨骨折に対するsplint療法

済生会山形済生病院 リハビリテーション部

遠藤 珠美 他

- 2-5 手指PIP関節背側脱臼骨折術後セラピーの検討

大阪厚生年金病院

堀内 はる香 他

## 特別講演 I

11 : 20~12 : 20

---

座長 土田 尚美 (新潟中央病院 リハビリテーション部)

Le-1 手指脱臼骨折に対する最小侵襲手技治療

兵庫医科大学 整形外科教授

田中 寿一 先生

## ランチョンセミナー

12 : 30~13 : 20

---

座長 越後 歩 (札幌徳州会病院 北海道外傷センター)

Lu-1 表面筋電計を用いた EMG バイオフィードバック訓練の実際

せんぼ東京高輪病院 リハビリテーション室

仲木 右京

Lu-2 新素材のスプリント材

星城大学 リハビリテーション学部

飯塚 照史

## 総会

13 : 30~14 : 30

---

## 一般演題セッション 3

14 : 40~15 : 30

---

座長 斉藤 和夫 (淵野辺総合病院 リハビリテーション室)

飯塚 照史 (星城大学 リハビリテーション学部)

3-1 外傷性肘関節拘縮におけるコンバート式スプリント療法の有用性

総合病院回生病院 リハビリテーション科

石井 誠二 他

3-2 肘関節疾患における DASH 評価法の有用性

聖隷浜松病院 ハンドセラピー部門

原田 康江 他

3-3 上腕骨外側上顆炎難治例に対する関節鏡視下手術後のリハビリテーション

聖マリアンナ医科大学病院 リハビリテーション部

高岩 亜紀子 他

3-4 胸郭出口症候群の診断用検査の試み

東京手の外科・スポーツ医学研究所

阿部 幸一郎

3-5 手根管症候群の術後早期における筋萎縮の回復経過

いまむら整形外科

杉野 美里 他

## 特別講演Ⅱ

15 : 40~16 : 40

---

座長 大溝 昌章 (弘前大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

Le-2 手指(中手骨以遠)骨折後の拘縮治療

新潟手の外科研究所 理事長

牧 裕 先生

## シンポジウム

16 : 50~18 : 30

### 「ADLの視点からみた骨折セラピー実践」

---

座長 田崎 和幸 (愛野記念病院 リハビリテーション部)

岡野 昭夫 (中部大学 生命健康科学部 作業療法学科)

S-1 基節骨骨折・PIP関節脱臼骨折における術後早期のDIP関節運動の有用性

三仁会あさひ病院 リハビリテーション科

茶木正樹 他

S-2 Burkhalter型splintを用いた基節骨・中手骨骨折の治療成績と後療法の検討

札幌徳洲会病院 北海道外傷センター

井部光滋 他

S-3 手指骨折後拘縮にてその解離術を必要とした症例

愛野記念病院 リハビリテーション部

野中信宏 他

S-4 手指骨折におけるTAMと日本版DASHおよびADL障害の経時的推移の検討

第一東和会病院 リハビリテーション科

藤原英子 他

S-5 手指骨折のADLにおける手の使用・不使用の検討

慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

阿部 薫 他